

令和8年度自治会・町会役員永年在職者に対する感謝状贈呈

7月7日(火) 鈴木晶雅大田区長及び古尾谷誠一田園調布地区自治会連合会会長同席の下、自治会・町会役員永年在職者13名に対して感謝状が授与されました。

自治会・町会名	氏名(敬称略)
調布大塚自治会	鳴海 博之
調布大塚自治会	飯島 高尚
田園調布一丁目清交会	染谷 優子
田園調布一丁目清交会	八木 潤子
田園調布一丁目清交会	助安 葉子
田園調布親睦会	青木 正枝
一般社団法人田園調布会	齋藤 巖
一般社団法人田園調布会	松本 秀昭
一般社団法人田園調布会	中村 耕造
田園調布西町会	落合 克俊
田園調布西町会	五木田 素子
田園調布西町会	落合 典子
田園調布協和会	高橋 邦明



編集後記

今年の夏も暑かったですね! そろそろ夏の疲れが出てくる頃でしょうか? 皆様、ご自愛くださいませ。
そして秋はお祭りの季節♪ 田園調布フェア、グリーンフェスタもあります。
私たち民生委員が、8月を除く毎月第2木曜日に10時から12時に嶺町特別出張所で開催しているミンジーカフェでも歌の先生のもと皆さんで懐メロを唄ったりコンサートを開いたり、楽しいことが目白押しです。
どうぞ遊びにおいでください。お待ちしております。
(編集委員 野呂瀬 季見子)

ことばあそび

大問題になっている「オイルショック」でナフサ不足により袋物などのカラーが白黒に…。
思わぬつながりがあるのにビックリ!
オイルを「老いるショック」に変えると心身の老いも相当のショックであります。
同様に「ローマは一日にして成らず」もローマを「老婆」にしてみるのも思い当たるところがあり、面白いです。
歳を重ねたら「教養」より「今日用」を心がけることが何よりとか。
街に出て出会った知人と挨拶を交わすだけでも良い一日になるのではないのでしょうか。
(編集委員 平山 智恵)

でんえん
わがまち HP
(カラーでみられます)



わがまち情報

(2026年10月-12月)

10月17日(土)
田園調布フェア
10月18日(日)
第19回田園調布グリーンフェスタ
10月25日(日)
田園調布小学校体育発表会
11月1日(日)
水の輪市(バザー)
12月12日(土)
田園調布一丁目清交会餅つき
12月下旬
各町会夜警及び夜回り

～人事異動～ (敬称略)

【田園調布地区自治会連合会、地域力推進田園調布地区委員会会長の交代】(令和8年5月20日付)
新任: 古尾谷 誠一
(田園調布親睦会会長)
退任: 古田中 武彦
(田園調布親和会会長)

令和8年10月
October, 2026
季刊 Quarterly

でんえん

My town Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進
 田園調布地区委員会
 編集 でんえんわがまち編集委員会
 事務局 田園調布特別出張所
 大田区田園調布1-30-1
 TEL 03-3721-4261
<http://www.city.ota.tokyo.jp/>

田園調布に「虎」還る!

<インタビュー>

ユニークなネーミングの「虎千里会」発起人の森一憲、古尾谷一心両氏にお話を聞きました。

<設立目的と構成メンバー>

田園調布地域のこどもたちがこの地に誇りを持ち、地元のイベントやボランティア活動を身近に感じて欲しいというのが願いの1つです。

現在は田園調布小・中学校の卒業生を中心に在校生、保護者をはじめ主旨に賛同してくれた方々で活動を行っています。



<今後の取り組みについて>

「虎千里会」メンバーの募集、拡大と育成プログラムの作成をしています。
学校、他町会、商店街など多方面との協力関係を築きイベントへの参加、コラボで販売促進、集客など地域経済への貢献を図ります。



<ロゴと名前の由来>

・「虎は千里行って千里還る」という中国の故事から田園調布を離れた人もイベントを楽しむだけでも帰って来て欲しいという思いから名付けました。

<活動実績と予定>

・今年4月に田園調布親睦会館と隣の若竹公園で初の「虎千里フェス」を開催。
来場者1,500人以上、参加ボランティアスタッフ50名(内こどもスタッフ10名) 模擬店6店舗、ゲームコーナー3店舗。
・6月に浅間神社のお祭りに参加。
・年3回(4月、6月、10月)にイベントを開催予定。



<田園調布地域の皆さまへのメッセージ>

今回の「虎千里フェス」を通じてこどもたちが主体的に地域活動にかかわる場が生まれ、地域活動への参加のハードルを下げる役割を果たせました。若い世代の参加をさらに促進し「虎千里会」が田園調布の次の100年をつなぐ一助になると確信しています。

これからも皆さまのご支援及びご指導をよろしくお願いいたします。

(編集委員 岡部 俊介)



第19回田園調布グリーンフェスタ開催のお知らせ

今年も田園調布せせらぎ公園・館にて19回目となる「田園調布グリーンフェスタ」が開催されます。

皆様に楽しんでいただける様な企画を予定していますので、お誘い合わせの上、ご来場ください。

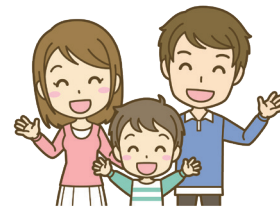
1. 日時：10月18日(日)
10時～15時(予定)
2. 場所：田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館、せせらぎ館体育施設（東急線多摩川駅前）

3. 主催：田園調布地区自治会連合会、田園調布グリーンフェスタ実行委員会。

4. 内容：雨天の場合は内容を一部変更、中止する場合があります。

- 田園調布中学校生徒による吹奏楽コンサート
- 各町内会、自治会による手芸品の販売や各種イベント
- 町会対抗パターゴルフ、ボッチャ体験
- ペットの里親探し
- ふわふわ遊具

毎回こどもたちの行列の途絶えることのないふわふわ遊具、なぜこんなに並んでも何回も乗りたくなるのか、体重80キロの私にはわかりませんが、もし孫でも乗るタイミングがあれば聞いてみようと思っています。
(編集委員 稲垣 芳隆)



〈ふわふわ遊具〉



〈ボッチャ体験〉



〈田園調布中学校の吹奏楽部による演奏〉

令和8年4月1日から実施

自転車の交通違反に「青切符」※導入！

自転車の利用度の高い田園調布地区はご注意ください！

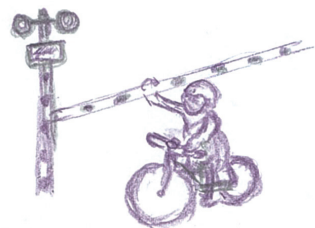
※交通反則通告制度(青切符制度)：自転車を始めとする軽車両にも自動車等と同様に「交通反則通告制度」が導入され、反則行為を行うと反則金の納付が通告されます。この時発行される交通反則通告書がいわゆる「青切符」と呼ばれるものです。取締りの対象年齢は16歳以上。イラストは交通違反の一例です。



携帯電話の使用
(反則金) 12,000 円



信号無視
(反則金) 6,000 円



遮断踏切り立ち入り
(反則金) 7,000 円



並進、二人乗り
(反則金) 3,000 円



無灯火、イヤホンの使用
(反則金) 5,000 円

(編集委員 山本 詔三)

田園調布駅前の消えたクリスマスツリー



なぜ消えたのでしょうか?? これまで長い間クリスマスツリーを支えてきた旭野商店街が諸般の事情により昨年はツリーの設置を取り止めました。そこで今年は旭野会と(一社)田園調布会がツリーの復活を願い、小さくても心のこもったツリーを飾れるように、協力し合うことにしました。

例年同様、イルミネーション輝く冬のシンボルのツリーを囲み、イブの日には「のるるん」が来て、こどもは駅員さんの帽子をかぶり「はい、ポーズ」。日没の頃には白いガウン姿のコーラスグループがキャンドルを持ち登場して、クリスマスソングを唄う、そんな光景を見たいですね。

1か月半のツリーの飾りが片付けられると、この街は新年を迎える準備に入ります。

(編集委員 加藤 厚子)



田園調布の今昔

～多摩川園の大山すべりをご存知ですか?～

■「田園調布せせらぎ公園」はその関連施設と共に多くの来園者を集めています。

この場所は、「温泉遊園地 多摩川園」という名称で田園調布の開発を進めた渋沢秀雄氏(栄一氏長男)、五島慶太氏などの主導で1925年12月に開業しました。

その中でも特徴的な遊戯施設だった「大山すべり」に焦点を当てて、その今昔をご紹介します。

■大山すべりとは?

「多摩川園」内の起伏(大山坂)を利用して作られた長い木製の滑り台を、麻袋をお尻

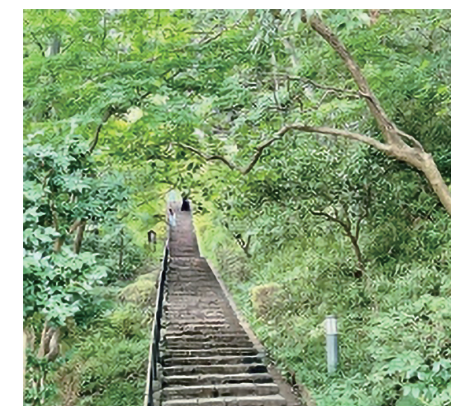
に敷いて一気に滑り降りるこども達には大人気のスリリングな滑り台でした!

現在は約50メートルの階段になっていて歩行者の通路になっています。

(編集委員 三島 通利)



〈多摩川園の大山すべり〉
(大田区立郷土博物館提供)



〈現在の大山すべり跡の通路〉



〈大山すべりの説明看板〉

